

平成28年度拡大委員長会議

日時：平成29年2月25日(土)

場所：TKP東京駅前カンファレンスセンター



黒岩 敏彦（滋賀県）

平成29年2月25日(土)午後5時よりTKP東京駅前カンファレンスセンターにて、平成28年度拡大委員長会議が開催されました。

開会の辞、会長挨拶に引き続き参加者の自己紹介が行われ、その後グループディスカッションが行われました。4つのグループに分かれ、各グループごとに①CISJの目指す方向、②問題点、③目標に向けての具体的対策についてディスカッションが行われました。その後各グループによる発表が行われました。それぞれの委員会ならではの問題点に対する改善策も検討されました。

休憩後、各委員会報告及び協議が行われました。学会関係として、今後のケースプレ試験、専門医試験の変更について報告がありました。

その後庶務報告、各種委員会報告が行われました。

協議事項として

次回第12回全員発表研修会の日程として平成29年7月16日17日(熱海)。

10月29日特別企画「要介護におけるインプラントを考える会～要介護におけるインプラントの是非と対応法～」

第28回アジア口腔インプラント学会の進捗状況等、来年度の計画を含め各事業について協議されました。



グループA

総務委員会	笹谷和伸、三堀陽介
講習会委員会	保田亜起、津川順一、北山徹、伊藤繁
専門医委員会	佐久間栄、(津川順一)
学会対策委員会	川井俊博

<目標>

- ・ ブランド力を上げる
- ・ 所属して楽しい会
- ・ 講習会に参加する人数の維持
- ・ 認定会員の増加
- ・ 若い先生の熱い意欲の維持
- ・ 他のコースの追従を許さない

<目標に向けての具体的対策>

- ・ 会員のCISJに所属しているというアピール
- ・ 行事のしぼり込み、レクリエーションを行う
- ・ CISJに入りたいと思うようなアイテム作り(バッジ、おき物)
- ・ マンパワーの不足
- ・ インプラント埋入未経験者にサポート(講習会医院と新人医院の連携)
- ・ 新人発表時のサポート(スライドフォーマット)
- ・ 窓口の統一
- ・ 専門委員会の人員の増
- ・ 出席者リスト



グループB

研修会委員会	水口稔之、岩本麻也、熱田互、齋藤琢也、百瀬康仁
特別研修会委員会	岩野義弘、関啓介、迫田竜二、(福西雅史)

<目標>

- ・ 専門医・指導医数最多の会とする
- ・ CISJを日本一の会に(知名度もスキルも)
- ・ 研修会に最低100名参加してもらう
- ・ インパクトのあるペーパーを発表する

<目標に向けての具体的対策>

- ・ 数値目標、実績を挙げる(現在のCISJの利点を列記)
- ・ 全員が何らかの委員会に所属する
- ・ 認定会員規則(規定)を全員発表+年2回以上の研修会参加とする
- ・ 若い先生のショートセミナーを実施し(入会してない先生向け)、受講した先生は安く認定講習会を受講できるようにする
- ・ ハンズオンを企画する(会員向け)
- ・ CMを出す、マスコットキャラを作る
- ・ 懇親会のテーブルを若手とベテランバラバラにする(決める)
- ・ 雑誌等執筆時、必ずCISJの肩書きを入れてもらう
- ・ 大学と合同で研究・発表する(コネクション、研究部門を作る)
- ・ 各委員会での飲み会を開く



グループ C

学術・AOIA委員会 若井広明、小野喜徳、鈴木秀紀、
木林雅朗

新人対策委員会 芦澤仁、福西雅史、木村恒太

衛生士・技士委員会 木村健二、藤江匠摩、宗村裕之

<目標>

- a. メンバーと共同作業しているDTも一緒に参加しながら勉強できる例会やセミナーを増やす
- b. 海外研修をCISJで企画したり、世界の学会にメンバーで参加したい
- c. 全員発表会でのクオリティーの維持・向上と参加人数の時間帯のバラツキを回避する
- d. 定例会の人数をいつも同じDr.だけではなく、多くの会員方に来てもらいたい
- e. インプラント学会で多くのDr.に発表できる環境を作りたい
- f. 多くのメンバーが常に参加出来るようにする！（リピーターが多い）

<目標に向けての具体的対策>

- a. 各Dr.が積極的にCISJを促し、一緒に参加する
- b. 海外のセミナーや学会に参加している先生達に楽しい事を伝えてもらい引っ張り役を決めて行う
- c. Level分けをして、ポスターだけでなく、時間を短縮し、1日で終了できるようにする
- d. 日本全国のメンバーが均等に参加できるように会場の自由化、コマーシャル化、他のStudy Groupと合同研修を行いQualityの高さと知名度を計る
- e. 専門医・指導医を始めとした先生方がこれから取得しようとする先生達に対して、積極的に手助けをし、指導を行える環境を作る。専門医取得後のカリキュラムを徹底させる！
- f. 研修会の充実度の向上、若手が分かり易い環境を作る。SNS etc. でメンバーに積極的に募る

グループ D

広報委員会 黒岩敏彦、橋本真、(熱田互)

IT委員会 笛木貴、岡田崇之、星野和正、
高井貞浩、(熱田互)、(齋藤琢也)

衛生士・技士委員会 鈴木郁夫、鈴木佐栄子

<目標>

- ブランド力の向上
- 帰属意識を高める
- 研修会 Dr.、DH、DTの向上、連携
- 情報配信、共有力

<目標に向けての具体的対策>

- 結束力を高める→地域の細分化でより顔の見える関係に
- 帰属意識・参加率の向上→研修会の多様化・充実
- 会への業績の多様化→他分野においてポイント制で単位

